

小児科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さまへ
当院小児科で白血病細胞の薬剤感受性試験を受けられた患者さまへ
「小児がん患者のがん細胞における細胞死に関わる遺伝的素因の探索」研究への協力をお願い

当院小児科ではさまざまな小児がんの診断と治療を行っております。小児がんにおいて抗がん剤による化学療法は重要な役割を果たしますが、薬の効き方や副作用の出やすさには個人差があることが分かってきています。この原因には、がん細胞が細胞死を起こすために必要な遺伝子の変化や抗がん剤をがん細胞に運び、分解する物質の遺伝子に個人差があるためと推測されています。私達は小児がんの患者さまの細胞死に関わる遺伝的素因を検索するための研究を行っております。

【対象となる方】

2006年1月1日～2013年3月31日の間に本院小児科で小児がんと診断され、治療された患者さまと、他の病院で小児白血病のため治療を受けられた際に当院小児科で白血病細胞の薬剤感受性試験を受けられた対象です。

【研究の目的】

この研究では患者さまのがん細胞の細胞死に関わる遺伝子や抗がん剤をがん細胞に運び、分解する物質の遺伝子が、どのように抗がん剤の効き方や副作用の出やすさに影響を及ぼしているのか、そのメカニズムを明らかにすることを目的とします。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省の「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。研究材料として血液、骨髄血、腫瘍生検標本などを用いますが、これまでの診療でおこなわれた血液検査や骨髄検査、病理検査などでえられた試料の残りを利用して行います。研究のために患者さまに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2014年3月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかつた場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式とした上で、学会等で発表されます。小児がんは稀少な疾患であるため、収集したデータや研究材料は厳重な管理のもと、研究終了後も半永久的に保存させて頂きたいと考えております。なお研究データに関してお問い合わせがあれば下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

平成 25 年 7 月 1 日

【問い合わせ、苦情等の連絡先】

研究責任者：坂口公祥

連絡担当者：坂口公祥

〒431-3192 浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学 小児科

Tel: 053-435-2312 Fax: 053-435-2311